

## 文部科学省 情報ひろば 『サイエンスカフェ』

主催：日本学術会議、文部科学省

参加無料です

毎月第4金曜日夜にサイエンスカフェを定期開催しています。  
平成23年度・第7回を、次のとおり開催いたしますので、テーマに少しでもご興味がありましたら、お気軽にご参加ください。

日 時	平成23年11月25日（金） 19:00～20:30
場 所	文部科学省情報ひろばラウンジ（旧庁舎1階）
主 催	日本学術会議、文部科学省
講 師	秋山 弘子（日本学術会議連携会員、東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授）
ファシリテータ	西原 潔（日本科学未来館科学コミュニケーター）
テーマ	「長寿社会に生きる」
定 員	30名
参加費	無 料



わが国は世界最長寿国。人生 50 年と言われた時代が長らく続いたが、人生 90 年時代となった。人生が倍近く長くなっただけでなく、どのような人生をおくるか自分で選択して生きる、90 年の人生を設計する時代になった。多様な人生設計が可能であるが、私たちの多くは人生 90 年にいまだ人生 50 年時代の生き方をして長くなった人生をもてあましている。

長寿化と少子化により高齢社会が到来した。これから 20 年先の 2030 年には 75 歳以上の人が人口の 2 割を占めると予測されている。人口の高齢化は首都圏で著しく、高齢者の半数近くは一人暮らしをしていると言われている。80 歳、90 歳のひとり暮らしがごく一般的になる。現在の社会のシステムは若い人が多く高齢者は少ない、人口がピラミッド型をしていた時代にできたものなので、高齢社会のニーズにはとても対応できない。急いで社会のインフラも見直さなければならぬ。こうした長寿社会の課題と可能性を皆さんと一緒に考えてみたい。